



壬生町政

住民登録人口

	昭和42年7月1日現在	対前月比
総人口	24,453人	32人増
男	12,064人	22人増
女	12,389人	10人増
世帯数	5,179世帯	8世帯増

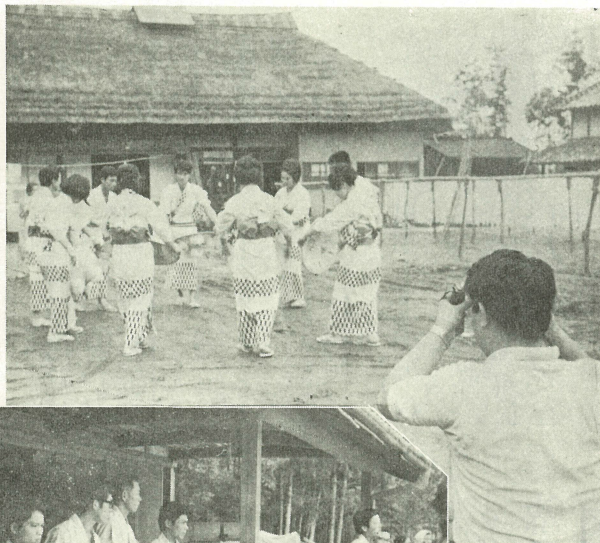
発行所 栃木県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可

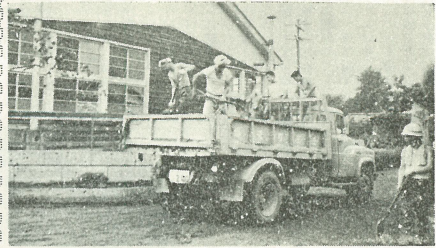
一部3円

若さあふれる 干瓢音頭練習



7月21日(金)NHK
テレビ午後1時5分から
15分間、町から村から「関
東風土記」で壬生町が紹
介されました。
テーマは「干瓢とおも
ちゃ団地」です。

写真は干瓢むきのモデ
ルになった須藤金治さん
方で、テレビ取材のため
に干瓢音頭に専念する藤
井地区青年団の皆さんで
す。



壬生中東門前の工事風景

壬生中・通学道路 舗装終る

つづいて稲中稲小通学道路

壬生町直管工事の町道舗装工事は、舟町・上通町線が、先月完成しました。七月三日から壬生中学校の通学道路である、仲通町、木村医院ノ壬生中学校東門までの町道舗装工事を開始して、七月十五日完成しました。

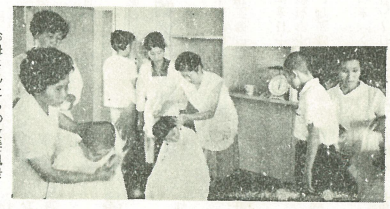
○舗装は、路上混合方式で延長は二百七十六メートル、平均巾員は二・五メートルです。

西側入口道路は、延長百八メートルで平均巾員同じく二・五メートルです。

工事費は、合せて九万二千円です。

同時期に稲葉小学校に通ずる西側の、道路舗装工事をを行います。延長は五十メートル、平均巾員二メートル、工事費は一万四千元です。

いづれも工法は、浸透式ガタム舗装で、厚さは三層仕上です。今月末日に完成予定です。



お母さんたちの散髪風景

きれいな頭で夏祭を

P.T.A.の散髪会

壬生小P.T.A.母親委員会は、七月十三日壬生小理科室で男子生徒三十名の散髪を行いました。これは毎年恒例の天正祭、十五日が近づいて、トニーさんに近い生徒があるの気のどくにして、一日奉仕したものです。この日奉仕されたお母さん方は、十五名です。



水難救助指導する水さん

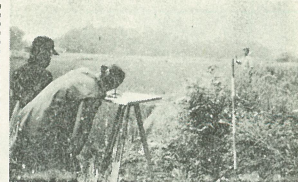
水難から子供を守る

水難事故防止講習会

七月十三日壬生小プールにおいて、壬生町教育委員会主催の水泳指導と水難事故防止の講習会が開催されました。これは壬生町子供育成会の役員と、各学校の先生を対象に行われたもので、当日指導された方は栃木警察署の、八木町警課長さんで「お母のすいとき」。「食事の前後」「病気のとき」の水泳は非常に危険です。また人命救助の実地指導がありました。

助谷・北小林地区 土地改良事業

―現地測量おわる―



北小林地区の現地測量

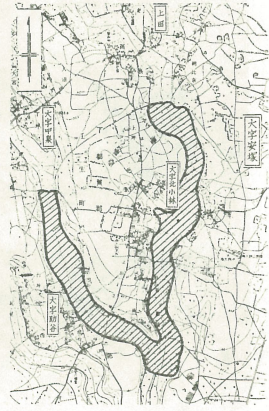
壬生町助谷地区団体營土地改良事業(兼川久次代表)では、今年六月一日から現地測量を開始して、末日終了しました。現在計画書作成中です。

この計画書は、十月の農林省の審査を通次次第、四十二年十一月より事業実施して、四十五年度に事業完了する予定です。

○この地域の田んぼは、区画がとのおぼ、農道は曲って狭く、耕運機が入れず、ひどいところでは稲刈の運搬も困難です。

○本事業の目的は、土地の高低を整え排水及び農道を完備して、交換分合によって農地の集団化をはかることです。

その該当地域は、助谷、北小林の両部落七ヶタール、対象農家百六十世帯で、事業費は約四百五十万円です。



→土地改良事業予定図

○この地域の田んぼは、区画がとのおぼ、農道は曲って狭く、耕運機が入れず、ひどいところでは稲刈の運搬も困難です。その該当地域は、助谷、北小林の両部落七ヶタール、対象農家百六十世帯で、事業費は約四百五十万円です。

五兆円を突破

簡易保険契約高

郵便局の生命保険として親しまれてきた簡易保険の契約高が、六月十三日五兆円を突破しました。これら簡易保険は、郵政省の融資資金として、いろいろな方面に使われています。

タバコはい

町で買えます

壬生町でも現在までに、稲葉中下の増築、町営住宅の建設、都市下水施設の整備事業など、またゴミ運搬車の費用の一部に、融資されています。

海の家・山の家をご利用下さい

二、山の家 期間 七月一日八月三十一日 場所 茨城県那珂市阿字ヶ浦浜田 浦浜田 常磐線那珂駅乗換、浜田 鉄道終点阿字ヶ浦駅下車 料金 ①宿泊一人一泊三食付(米四合五分持参)六百元、但し、国保被保険者六百元、五十円は国保連合会で負担します。 ②日帰り、一人百円

水難から子供を守る

七月十三日壬生小プールにおいて、壬生町教育委員会主催の水泳指導と水難事故防止の講習会が開催されました。これは壬生町子供育成会の役員と、各学校の先生を対象に行われたもので、当日指導された方は栃木警察署の、八木町警課長さんで「お母のすいとき」。「食事の前後」「病気のとき」の水泳は非常に危険です。また人命救助の実地指導がありました。

壬生町第一保育所に寄贈

▽牛乳六本、城東町、木村恵吉さん。
▽いちご、刈りのため、いちご畑を
提供、舟町、川中啓二さん。
▽画用紙四百枚、日繁業社社員、
松岡秀誠さん。
▽雑せん多敷、舟町、名坂登さん

評価証明が無料になります

登記目的の評価証明手数料が、八月一日から無料になります。ただし登記所の証明書が必要で、証明書のないときは、従前と変わりません。詳細は住民課、または、税務課におたづね下さい。

無料 八月の心配ごと相談

- 第一火曜日 一日 中央公民館
- 第二火曜日 八日 稲葉公民館
- 第四火曜日 二十二日 南犬飼公民館
- 第五火曜日 二十九日 中央公民館
- 第一火曜日には、行政相談も併せて開設されます。
も併せて開設されます。
時間はいずれも十時から三時まで(午)

八月以降の納期
八月 町県民税 二期
九月 国保税 二期
九月 国民年金 二期
(七八九月份)
十月 町県民税 三期
十月 国保税 三期
十一月 国民年金 三期
十一月 固定資産税 三期
十二月 国民年金 三期
(十一月、十二月分)
一月 町県民税 四期
一月 国保税 四期
一月 国民年金 四期
(一、二、三月份)
二月 固定資産税 四期

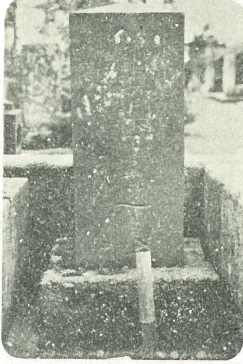
人事消息

- 七月一日付
- ▽係長クラス 総務課主任石井博英(同主事)、税務課主任小田垣(同主事)、同主任水野孝男(同主事)、住居課主任若井弘(同主事)、建設課主任荒川充満(同主事)、同主任菅井俊夫(同主事)事)、同主任菅井俊夫(同主事)事)、同主任菅井俊夫(同主事)事)
- ▽新採用 建設課勤務(技術補)桑川邦夫
- ▽退職 主事補瓦井宏満(経済課)



維新前後の壬生

築波事件と壬生藩
明治維新の大業なるまでの過程は実に千変万化しうべきか時々情勢の変化が及ぶ到底国内の事件を記述することは出来な、が、之を概説すれば藩府を助ける金津桑名の両藩の外乱運糧など勢力があり、薩長二藩を主とする勤皇派の動き、公武(朝廷と藩府)合体を主張する土佐藩の運動がありしかも各藩とも必ずしも藩論が統一されない複雑岐の情勢であった。



鎌田駿四郎の墓 (常楽寺)

た、当時小四郎は若年のため町奉行山見頼之右衛門を誦と参り、もの六十余名次第に入敷を増した。初めは日光神廟にようろうして宇都宮藩主戸田氏を誦いて失敗し止むを得ず栃木大平山に上った。後主流は筑波山に移動した。初め大平谷兵の時壬生藩の勤皇の志士鎌田守四郎基忠はひそかに情勢を探るため大平に至り姉藩の後志の糾合につとめ勤皇運動に加せんとしたが藩の知る所となり捕らえられて獄に入れられた。基忠は大いた憤慨して其顛末を認めて自殺した。今基忠の墓は常楽寺にある。筑波の事件の方は拡大して水戸藩は困惑して諸臣を天狗党に命じて之に向わしめたが松平武将武田耕雲斎は天狗党に共鳴して之に参加した後その重鎮となつた。天狗党は勢を延びた。天狗党の中には純真の勤皇者ばかりでなく成りぬるの掛間不良の輩もあり栃木で重資金の調達に失敗して放火した。武将田中げん蔵)の悪名を残すような事もおきた。遂に幕府は水戸藩の外高崎寛間朝倉佐倉等の諸藩に命じて天狗党の征伐を命じた。壬生藩もその討伐隊に入り水戸郊外小坂(ひばり)塚で勇戦して名をあげた。当時二戸で居る京都で津、雲雀塚では島屋さん